

広島県公募型プロポーザル事業「せとうちモニタークルーズ実証実験」を 北陸・せとうち観光ナビ「tabiwa by WESTER」で実施します！

2022年11月8日
株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ
瀬戸内海汽船株式会社
西日本旅客鉄道株式会社

株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ（本社:大阪市北区、代表取締役社長:野中 雅志）、瀬戸内海汽船株式会社（本社広島市南区、代表取締役社長:仁田 一郎）、西日本旅客鉄道株式会社（本社:大阪市北区、代表取締役社長:長谷川 一明）は、広島県公募型プロポーザル「令和 4 年度デジタル技術を活用した快適な観光航路等の実現に向けた検討業務」の事業として、デジタル技術を活用した瀬戸内海航路網の最適化を目指して、観光型高速船クルーズ「SEA SPICA」と北陸・せとうち観光ナビ「tabiwa by WESTER」による実証実験を実施します。

瀬戸内海汽船株式会社とJR 西日本グループは今後も連携を図り、せとうちエリアの観光クルーズの振興や地域の課題解決に対する取り組みを、デジタル技術等を活用して積極的に展開してまいります。

1. 実証実験概要

瀬戸内国際芸術祭の注目、及び 2025 年の大阪・関西万博の開催に伴う観光客の集中により、せとうちエリアの観光地の混雑やアクセス交通不足が懸念されています。そこで、観光客の来訪日平準化を図りつつ、観光客の満足度向上と地域振興の両立を目指すことを目的に、土休日を中心に定期運航をしている「せとうち島たびライン」をベースに、新たな寄港地として鞆の浦、大崎上島を含めた「SEA SPICA 期間限定せとうちモニタークルーズ」を平日に運航し、新たな運航ルートや平日における観光クルーズのニーズを検証します。またモニタークルーズの予約・販売や、購入者の属性・関心の高いスポット等のデータ収集を「tabiwa by WESTER」で実施し、広島県インフラマネジメント基盤 Dobox に提供することで、せとうちエリアにおける快適な観光航路等の実現につなげてまいります。

2. せとうちモニタークルーズ概要

1) 運航日

2022 年 12 月 6 日（火）～2022 年 12 月 22 日（木）のうち火、水、木曜日（9 日間）

2) 運航ルート（※詳細のルート、運航ダイヤは別紙をご確認ください）

①12 月 6 日（火）、13 日（火）、20 日（火）

鞆の浦→広島コース（鞆の浦港～瀬戸田港～広島港）

②12 月 7 日（水）、21 日（水）

広島→尾道コース（広島港～御手洗港～大崎上島～尾道港）

尾道→広島コース（尾道港～下蒲刈港～広島港）

③12 月 8 日（木）、22 日（木）

広島→三原コース（広島港～御手洗港～大崎上島～三原港）

三原→広島コース（三原港～大久野島～御手洗港～広島港）

④12 月 14 日（水）、15 日（木）

広島→しまなみ→尾道コース（広島港～御手洗港～しまなみクルーズ～尾道港）

尾道→しまなみ→広島コース（尾道港～しまなみクルーズ～御手洗港～広島港）

3) 商品価格（※大人、小人同額の設定）

2,000 円

※通常の「せとうちしまたびライン」6,000 円よりもお求めやすい価格でのご提供です。

4) 発売方法

11 月 9 日 10 時より北陸・せとうち観光ナビ「tabiwa by WESTER」で発売します。モニタークルーズ参加者のアプリ利用傾向の分析等のため、アプリ版をダウンロードの上、ご購入ください。



5) その他

- ・モニタークルーズ参加者は、アプリのプッシュ通知の受け取りや船内でのアンケートへの回答等にご協力いただきます。
- ・その他詳細は、せとうちパレットプロジェクト HP をご覧ください

<https://www.setouchi-palette.jp/cruise/monitor-tour202212>

今回ご案内の取り組みは、SDGs 目標の 9 番、11 番、17 番に貢献するものと考えています。



【別紙】

<せとうちモニタークルーズ 運航ルート>

① 鞆の浦→広島コース

【運航日】12/6(火)、13(火)、20(火)

西向きコース (鞆の浦▶広島港)

鞆の浦 発 12:30
▼
瀬戸田港 着 13:45
発 14:45
▼
- 音戸の瀬戸 -
- 艦船クルーズ - 16:20
▼
広島港 着 17:00



② 広島⇄尾道コース

【運航日】12/7(水)、21(水)

東向きコース (広島港▶尾道駅前)

広島港 発 8:30
▼
- 艦船クルーズ - 9:00
- 音戸の瀬戸 -
▼
御手洗港 着 10:00
発 11:00
▼
大崎上島 (沖浦港) 着 11:15
発 11:45
▼
尾道駅前 着 13:00

西向きコース (尾道駅前▶広島港)

尾道駅前 発 13:15
▼
- 契島クルーズ - 14:15
▼
下蒲刈港 着 15:00
発 16:15
▼
- 音戸の瀬戸 -
- 艦船クルーズ - 16:50
▼
広島港 着 17:20



③ 広島⇄三原コース

【運航日】12/8(木)、22(木)

東向きコース (広島港▶三原港)

広島港	発 8:30	三原港	発 13:00
- 艦船クルーズ -	9:00	大久野島	着 13:20
- 音戸の瀬戸 -			発 13:50
御手洗港	着 10:00 発 11:00	御手洗港	着 14:35 発 15:35
大崎上島 (沖浦港)	着 11:15 発 11:45	- 音戸の瀬戸 - - 艦船クルーズ -	16:35
三原港	着 12:45	広島港	着 17:05

西向きコース (三原港▶広島港)

④ 広島⇄しまなみ・尾道コース

【運航日】12/14(水)、15(木)

東向きコース (広島港▶尾道駅前)

広島港	発 9:00	尾道駅前	発 13:20
- 艦船クルーズ -	9:30	- しまなみクルーズ -	
- 音戸の瀬戸 -		大三島橋・多々羅大橋	
御手洗港	着 10:30 発 11:30	御手洗港	着 14:50 発 15:50
- しまなみクルーズ - 大三島橋・多々羅大橋		- 音戸の瀬戸 - - 艦船クルーズ -	16:50
尾道駅前	着 13:00	広島港	着 17:20

西向きコース (尾道駅前▶広島港)



<せとうちモニタークルーズ寄港地のご紹介>

[大崎下島（御手洗）]

江戸時代から風待ち、潮待ちの良港として栄えた御手洗(みたらい)は、人と情報が集まる要衝として発展し、現在も残るその町並みは、1994 年に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、2017 年には日本遺産の認定を受けました。また、明治以降の洋風建築や昭和初期の看板なども点在し、時代に応じた発展の跡をとどめており、歴史情緒にあふれたエリアです。



[大久野島]

1971 年、地元の小学校がウサギ 8 羽を島に放したことから始まり、現在は約 900 羽のウサギが生息しています。いまや国内外から人気のある大久野島(おおくのじま)ですが、戦時中、日本軍が毒ガスを秘密裏に作り、地図自体からも存在を消された悲しい歴史も。島内には毒ガスを精製していた痕跡が残っています。

[下蒲刈島（三之瀬地区）]

三之瀬(さんのせ)瀬戸の急潮を借景に、松を主樹としたみどり豊かな落ち着いた潤いのある庭園で、江戸時代に隆盛を極めた歴史と文化を紹介した「松濤園(しょうとうえん)」、ここに所蔵される資料がユネスコの世界記憶遺産に登録されています。また、多くの漢学者らが訪問し、交流を深めた茶室は壁が回転する珍しい「どんでん返し」のからくりをみることが出来る「白雪楼(はくせつろう)」、日本建築に則った荘厳で静寂な雰囲気の中、国内外で著名な近代美術作家の作品を展示する「蘭島閣(らんとうかく)美術館」などの文化施設が多数存在しています。



<モニタークルーズ船上風景の見どころ>



[呉湾（海上自衛隊呉基地）]

瀬戸内海のほぼ中心に位置し、明治時代に呉鎮守府が設置されたことが契機となり軍港として発展した港です。現在は海上自衛隊呉基地があり、艦船や潜水艦などを間近に見ることができます。



[音戸の瀬戸]

本州と倉橋島の間にある海峡。狭い可航幅、多種多様な船舶が通行する交通量の多さが特徴。平清盛が 1 日で切り開いたという伝説も残ります。



[安芸灘大橋]

本州と下蒲刈島をつなぐ「安芸灘としま海道」の入口に架かる橋。瀬戸内海を連想させる水色の橋が美しい瀬戸内海とマッチしており、船の上だからこそ楽しめる大迫力の絶景が見所です。

[瀬戸内の軍艦島（契島）]

竹原市の沖合に浮かぶ総面積は 9 万平方メートルの島。明治 32 年(1899 年)に深川鉱山製錬所として銅の製錬から始まり、のちに東邦亜鉛株式会社が買収して鉛の製錬を行うようになり、今日に至る。契島は、島全体まると鉛の製錬工場という、全国的にも極めて珍しい島。工場ファンや廃墟マニアの間では“もう 1 つの軍艦島”“生きた軍艦島”とも呼ばれ、注目度も高い。